

## 所信表明、平成27年度施政方針及び予算編成方針

今後の村政運営に対する私の所信を申し上げます。

私は、村長就任までの間、「元気で輝くみずかみ」・「元気で笑顔あふれるみずかみ」をスローガンに掲げ、村づくりの方向性を村民の皆さまに訴えて参りました。

誰もがこの村に住んでよかったと思える「元気で輝くみずかみ」・「元気で笑顔あふれるみずかみ」を目指すためには、先ずは今、この水上村に住んでいる人たちが住みやすい村にしていかなければいけないということだと思います。

そのためには、村民の皆さまの声が届く村政を心がけていかなければならないと思います。ただ、村民の皆さまの声がすべて私に届くわけではありません。村民の皆さまと接する機会が多いのは、なんととっても職員であります。

私は、就任にあたっての職員への訓示において、「行政の原点に立ち返り、村民の皆さまの幸福度、福祉向上のため何ができるのか、何をしなければならないのかを常に考え、行動していただきたい」と申し上げました。

このことは、行政に声が届きにくい様々な弱者の人たちもおられますが、ただ役場で待っているだけでは村民の声は届かず、その人たちの声を聞くには、その人たちのもとに足を運んで、自ら耳を傾けその人たちの気持ちを聞き取るということを、日常の仕事のなかで心がけていただきたいとの思いを込めて申し上げたところであります。

また、私たちは村民の皆さまから血税をいただき、仕事をさせていただいております。村政運営にあたっては、皆さまのためになるということを常に心がけていかなければなりません。

そして、村民の皆さまと一体となった水上村の村づくりに向け、誠心誠意、全力を尽くして取り組んでいきます。村民の皆さまとの対話を通して、水上村に住んで良かった「元気で輝くみずかみ」・「元気で笑顔あふれるみずかみ」の実現に努力して参りたいと思います。

私は、今回の選挙を通じて、国内の地方経済が低迷し村民の所得が伸び悩んでいることもあり、今の生活に様々な不安感を抱かれておられる村民が多いことを実感いたしました。

そして、子どもとお年寄りにやさしい村づくり、村民が生き生き働くことのできる村づくり、共生(自立)の村づくり、村行財政の健全化の4つを政策公約として発表し、村民の皆さまの声を幅広くお聞きしたところであ

ります。子育てがより安心してできる環境を整備し、これからの水上村を担ってくれるでありましょう人づくりに努めること、また、お年寄りの方の健康や生活に対する不安解消に努めること、生業の将来に不安を抱かれた農林業や商工業の連携による6次産業化の推進、地域の創意工夫による住民自治活動の支援等であります。

具体的な実施においては、水上村総合計画、水上村過疎地域自立促進計画、水上村辺地総合整備計画、水上村子ども・子育て支援事業計画との調整も必要となる場合がございます。また、私が目指す村政運営を含みながら、もう少し時間をかけて調整する必要があると判断した事業は、今後の補正予算対応も含めた検討をさせていただきたいと存じます。

以上、これからの村政運営についての所信を述べさせていただきました。村民の皆さまの幸せを実現することが、行政の最大の使命です。

これからの4年間、汗をかくことを惜しまず、全身全霊を傾注し村政運営に邁進して参りますので、議員の皆さま、そして村民の皆さまの深いご理解と、絶大なるお力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げまして所信表明といたします。

予算現額は

|                    |            |
|--------------------|------------|
| 一般会計予算             | 24億3,100万円 |
| 国民健康保険特別会計(事業勘定)予算 | 4億1,190万円  |
| 国民健康保険特別会計(直診勘定)予算 | 691万円      |
| 介護保険特別会計予算         | 3億3,080万円  |
| 後期高齢者医療特別会計予算      | 3,140万円    |
| 簡易水道事業特別会計予算       | 3,840万円    |
| 農業集落排水事業特別会計予算     | 5,800万円    |
| 林業集落排水事業特別会計予算     | 565万円      |
| 下水道事業特別会計予算        | 3,480万円    |

総額 33億4,886万円といたしました。

次に各課の主な予算について申し上げます。

まず、**議会**関係につきまして、昭和21年からの議会議事録をマイクロフィルムにより保存することとし、また、議場の議事記録用録音機が長年の使用により故障が多発するため買い替えることとして、それらの所要経費を計上しております。

**総務課**につきましては、地方公共団体が所有する公共施設等について、総合的かつ計画的な管理の基本的な方針を定める公共施設等総合管理計

画を策定することといたします。策定経費の半額は特別交付税により措置されます。

また、村防災行政無線につきまして設置後25年程経過し、老朽化等により支障のある状態にありますので新たな施設として整備することとし、本年度におきまして施設の調査設計業務を委託いたします。

交通安全防犯関係では、今年度も区の要望により、交通安全施設カーブミラー・ガードレール及び防犯灯の設置整備を行い、交通防犯環境の安全性の向上を図ってまいります。

今年11月に、村制施行から120周年を迎えるにあたり、記念式典を実施することといたしまして、記念事業に係る所要の経費を計上しております。

消防費につきましては、簡易水槽の整備を図り、消防団員のヘルメットを来年度までの2年間で年次的に更新することとし、また、地区の消防施設の修繕を行い、消防施設の機能強化を図ることとしております。

災害対策におきましては、避難所に毛布、パーティション、防災敷マット等を常備することとして施設の充実を図ります。

次に**企画観光課**関係でございますが、

企画費におきましては、住民の方への情報提供として、広報「みずかみ」を発行しておりますが、昨年度に引き続き縮刷版の作成を計画しております。

また、水資源開発事業について、昨年度までの2か年間、宣伝用のペットボトル製造委託を行っておりましたが、今回、販売展開を進めるため、村で使用する各種大会参加賞等の宣伝用水として、購入費を計上しております。

商工振興対策費においては、低迷する産業の振興を図るため、補助率を45%から50%に引き上げたうえで、商工業施設等整備事業補助金を計上しております。

今年度は、9件の事業者の方の要望書に基づき、5年間の施策であることから、適期に産業経済の活性化を図るための予算措置であります。

水上村観光協会助成金については、当初予算において例年の助成金1,500万円と3月定例議会において追加提案で補正しておりました地域創生先行型の事業費として1,500万円の助成金を平成27年度の観光協会事業計画に基づいて精査し減額計上しております。

なお、平成27年度は桜祭りが45周年にあたるため、記念イベント実施等を計画されております。

桜の里事業費については、特に、建設以来25年を経過します噴水施設

の総合的な維持管理に関する修繕及び調査を行うための委託料を計上しております。

次に、昨年度実施しました白龍妃橋の改修に続き、白龍王橋の改修工事を行うための事業費を計上しております。

観光施設管理費については、キャンプ場施設の機器の取替を実施するよう補正をお願いしております。

次に**住民福祉課**関係につきましては、高齢者福祉、児童福祉、障害者福祉等をはじめ保健衛生、環境衛生の充実に努めるとともに、関係機関と連携し、福祉の増進にあたって参ります。

まず、総務費の社会保障・税番号制度事業費については、平成27年10月以降、12桁の個人番号を住民全員に通知し、その後、住民の方の申請により、個人番号カードを交付することとなります。これに伴います関連事務の委任に係る交付金を計上しております。

民生費については、身障者補装具扶助費の新規申請分と今年度も実施される臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金に伴うシステム改修費を計上しております。

衛生費につきましては、古川地区全域19世帯に5人槽の合併浄化槽を設置する要望がありましたので、国・県・村の補助金と古川地域開発基金を財源とし、計上しております。

保育所につきましては、広域入所負担金及び保育の安定的な提供並びに保育所内での安全確保を行うための所内の各種修繕費と備品購入費を計上しております。

介護保険特別会計につきましては、条例改正も提出させていただいております、第1段階の保険料率を0.05軽減し、その減額分に公費を投入し、軽減強化を行います。そのことに伴い、国・県・村の負担金の増額及び保険料の減額を計上しております。

続きまして、**経済課**関係であります。農林産物の価格の低迷が続く中、農林業に関する村単独補助事業の補助率を45%から50%に引き上げ、農林業を支援することとしました果樹剪定補助金、農業生産資材導入事業補助金、獣類被害防止資材設置補助金、林業振興機械等整備補助金を計上しております。

また、中山間地活性化対策事業の中で、本村のおいしい米を正しく評価し、販路拡大に努めるため食味官能試験を実施し水上産米の付加価値を高めます。

畜産につきましては、球磨優良牛等の導入、受精卵移植の推進、子牛自家保留を推進し畜産農家の所得の向上に努めます。

林業につきましては、村有林の計画的な施業管理を行うため、森林環境保全整備事業を活用した間伐を計画しておりましたが、国県の補助枠の大幅な削減により、間伐等森林整備促進対策事業の一部を乗り換え実施するよう計画しております。林業振興費では、木材搬出への支援や森林経営計画作成への支援の予算を計上しております。

**建設課**関係につきましては、水環境整備事業におきまして村の簡易水道区域外の山間地にあります給水組合で管理されている簡易給水施設について、老朽化等による施設改修の要望がありましたので、補助金を予算計上し、年次計画で実施するよう計画していきます。

農業基盤整備事業関係では、市房第2ダムから農業用水を取水している幸野・高瀬地区の揚水ポンプが老朽化し、その管理に苦慮しているとの地元からの要望を受け、揚水ポンプ改修を国・県の補助金と地元負担金を充て、実施するよう計画しております。

林道関係では、林道の修繕料の増額、地元から要望がありました林道及び作業道の整備事業補助金の追加をお願いしております。

土木費関係では、村道の傷んだ箇所ですぐ対処できるよう修繕料を増額し、道路新設改良費では、継続事業として2路線と、新規に地元から拡幅の要望があつておりました1路線の改良工事を実施します。また、来年度以降に改良工事予定の3路線の測量設計業務委託も予算計上しております。

道路舗装費では、昨年度に引き続き社会資本整備交付金事業で1路線、路面が荒れている箇所が多い3路線の舗装工事を予算計上しております。

橋梁長寿命化改築事業として、社会資本整備交付金により3橋の補修工事を実施するとともに、村道橋（117橋）の点検を年次計画で実施し、老朽化し危険な橋梁の改修を推進します。

住宅費関係では、住宅の修繕料の増額、老朽化が著しく現在空き家としている古い住宅5戸を用途廃止して解体するよう、工事費を予算計上しました。また、平成25年3月に策定した公営住宅長寿命化計画により、2棟4戸の外壁改修工事を国庫補助事業で実施します。

特別会計の簡易水道事業では、岩野浄水場のフェンスの修繕など各施設の修繕料の追加をお願いしております。

**教育課**関係につきましては、平成27年4月1日から地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律で、教育委員会制度の改革が施行されましたので、そのことについて、最初に概要等をご説明いたします。

趣旨は、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育

行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見通しを図るためでございます。

概要につきましては、現行の教育長と教育委員長を統合した新「教育長」の創設や、首長が主宰します「総合教育会議」が柱となり、首長の権限強化、首長と新教育長の責任を明確化し、いじめ問題など緊急事態の発生時に的確に対応できるようにするものでございます。

今回の改正で、新教育長は教育委員会の代表者と位置づけられ、首長が議会の同意を得たうえで任期を3年として直接任免することになりました。

それでは、予算関係について申し上げます。

学校は、確かな学力や豊かな心、健やかな体などの「生きる力」を身に付ける場です。そのためには、学校が安全で安心な場所であることが前提となります。

昨年実施いたしました非構造部材の耐震診断の結果、水上中学校の体育館天井が国の示す基準に当てはまらないことが判明いたしましたので、体育館非構造部材改修を実施する予算を計上いたしております。併せまして、体育館屋根の老朽化と天井撤去により体育館内全体の室温が高温になる可能性があることから、屋根の改修工事も実施することといたしました。更に、子ども達の学校環境を整える観点から、校舎などのトイレ洋式化改修工事を学校毎に年次計画で行うこととし、27年度は中学校を計画しております。

小学校関係では、災害等の避難待機所となっております湯山小学校地域交流センターにトイレ併設がされておられませんので、障害者等が利用できません多目的トイレの設置予算を計上いたしております。また、当初予算化をしておりました小学校の教材用タッチパネルセット購入につきましては、26年度地域創生枠のICT構築事業で予算化をいたしましたので、今回減額することにしております。

それから、小中学生の安全な通学手段など水上村では欠かせないスクールバスについて、現在3台を保有しておりますが、その内の1台が14年を経過し、故障も多くなっていることから更新をしたいと今回予算措置をしたところでございます。

社会教育費関係につきましては、文化財保護活動のための保存会への備品購入予算や、公民分館の改修で上楠公民館の改修が計画されておりますので、その工事予算を計上いたしております。

また、岩野公民館のトイレ洋式化や給食センターの塗装など、教育関係施

設の修繕を計画しているところでございます。

そのほか、クロスカントリー整備については、利用予想数、施設維持費、経済効果などを27年度中に詳細に分析検証し、今後の事業推進に向け検討会を重ね、併せて施設へのアクセス整備を国県に強く要望していくよう計画しているところでございます。

水上村長 中嶽 弘継